

登録コード	UAB02600	開講年度	2026				
授業題目	哲学思想論AR					担当教員	三谷 尚澄
						副担当	早坂 俊廣
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	月曜・6時限		
				授業形態	演習		
信大コンピテンシー該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」					【授業の達成目標】	
	2 6 UAカリ・総人社・人間文化学, 2 5 UAカリ・総人社・人間文化学						
	【人間文化学】思想、歴史、社会、情報、言語、芸術など多種多様な側面を持つ人間文化に関する深い素養と幅広い理解を基盤として、その文化を継承し、柔軟な感性と創造的な論考により専門領域の問題を客観的・学問的に究明し、独自に理論を構築する能力や仮説を検証する能力を有する。					自身の専門分野に関する深い素養と幅広い理解、探求能力や検証能力を身につけている。	
	【人間文化学】人間文化に関する文献・資料を収集・調査し分析・考察する人文学の伝統的な手法を身につけるとともに、他の学問分野の解析手法を併せて修得することによって、複雑多様化する現代社会の課題に柔軟な対応ができる応用力を有する。					自身の専門分野に関する深い素養と幅広い理解、探求能力や検証能力を身につけている。	
	【人間文化学】高度な言語運用能力とコミュニケーション能力を基盤として、多領域のステークホルダーと協働し、現代社会の課題に取り組みながら、独創的かつ多文化共生的な英知の創成と提案を行う力を有する。					自身の専門分野に関する深い素養と幅広い理解、探求能力や検証能力を身につけている。	
(2)授業の概要	本授業の受講生は、以下の実践的取組みについて、i)その具体的な企画案をたて、ii)イベントの告知・広報活動を行い、iii)当日の運営・管理の全般を担当する。 1．信州大学所属の学部生・大学院生を対象としたスピーカーズ・コーナーの企画・開催・運営。 2．信州大学所属の学部生・大学院生を対象とした哲学カフェの企画・開催・運営。 3．学外の方々を対象とした哲学的対話イベントの企画・開催・運営						
(3)授業計画	第1回：ガイダンス（早坂、三谷） 第2回：学内版スピーカーズ・コーナーの開催にむけた企画案の構成（早坂） 第3回：学内版スピーカーズ・コーナーの開催にむけた広報活動の準備と実践（早坂） 第4回：スピーカーズ・コーナーの実践（1）教室を用いたイベントの開催（早坂） 第5回：スピーカーズ・コーナーの実践（2）人文ホールを用いたイベントの開催（早坂） 第6回：受講生同士による哲学カフェの練習（三谷） 第7回：学内版哲学カフェの開催に向けた企画案の構成（三谷） 第8回：学内版哲学カフェの開催にむけた広報活動の準備と実践（三谷） 第9回：学内版哲学カフェの実践（1）教室を用いたイベントの開催（三谷） 第10回：学内版哲学カフェの実践（2）人文ホールを用いたイベントの開催（三谷） 第10回：ここまでの活動の振り返りと反省（早坂、三谷） 第11回：学外版哲学的対話イベントの開催に向けた企画案の構成（三谷） 第12回：学外版哲学的対話イベントの開催に向けた広報活動の準備と実践（三谷） 第13回：学外版哲学的対話イベントの実践（1）学内会場（三谷） 第14回：学外版哲学的対話イベントの実践（2）学外会場（三谷） 第15回：振り返りとまとめ（ピア評価の実践）（早坂、三谷） 定期試験：行わない。						
(4)成績評価の方法	ピア評価のシステムを導入する。ピア評価シートを用いて、プログラム開始時から終了時までの活動参加度、発話回数、他者の発話に真摯に耳を傾け、理解しようとする態度などの成長度合いを定量的に測定する。また、最終レポートとして、「自分が成長したと思える理由」を、具体的なエピソードと共に記述してもらうことを通じて、学修成果の確実な測定を実現する。						
(5)成績評価の基準	成績評価の対象となる各項目について、(i)熱心な態度と明確な貢献が際立っており、建設的かつ説得的な内容を備えた報告が提出されていれば「卓越している」。(ii)熱心な態度と十分な貢献が認められ、適切かつ整合的な内容を備えた報告が提出されていれば「かなり上にある」。(iii)真摯な態度とある程度の貢献が認められ、十分に妥当な内容を備えた報告が提出されていれば「やや上にある」。(iv)妥当な態度とある程度の貢献が認められ、瑕疵のないまとめと論理性を備えた報告が提出されていれば「水準にある」。						
(6)事前事後学習の内容	複数の新聞を講読するなど、日頃から現代社会の動向を注意深く収集する習慣を意識して行動すること。また、授業で学習した内容を、次回以降の授業で生かせるよう、受講生内で授業時間外にも自主的に対話・議論する時間を設ける等の工夫をすること。						
(7)履修上の注意	大学院生としての自覚をもって履修してください。						
(8)質問、相談への対応	以下のアドレスにメールを送ってください。 nmitani@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	鷲田清一（監修）『哲学カフェのつくりかた』大阪大学出版会、2014年 ハイフェッツ&リンスキー『最前線のリーダーシップ』ファーストプレス、2007年						
【参考書】	授業中に指示する。						